

# 金環食とは？



2012年5月21日東京を中心に日本各地で見られます！

日本では十年から数十年に一度の割合でしか起こらない とても珍しい天文現象です。

月が太陽に重なった時、太陽が月よりも少しあはみだして金色の環となって見える日食の事を

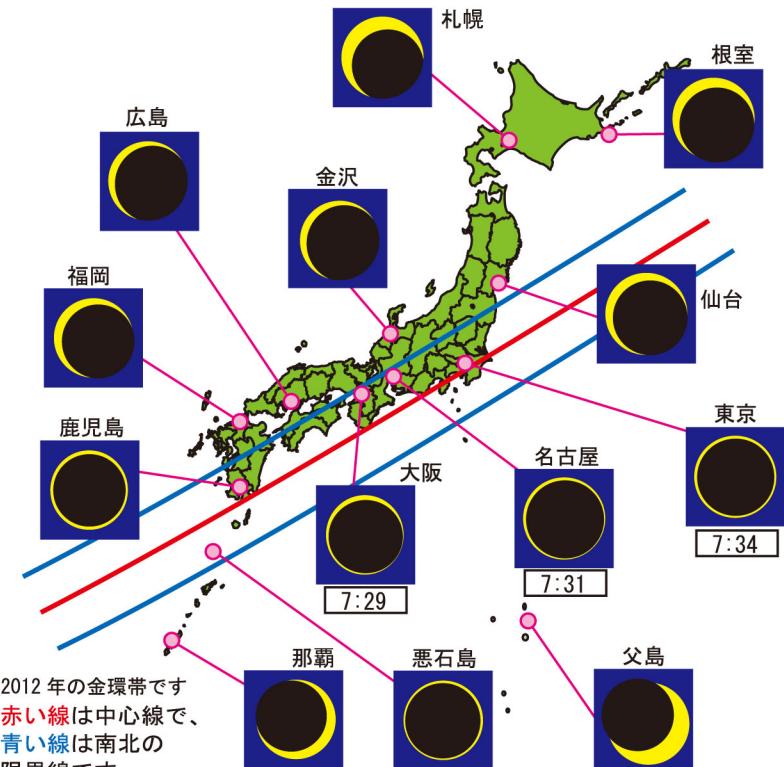
「金環食（または金環日食）」と呼びます。

日食の中でも珍しい特別な日食なのです。

前回は25年前（1987年）の沖縄  
次回は19年後（2030年）の北海道

来年（2012年）は  
日本列島各地で観測できる  
とても珍しい現象です！

各地での金環食の見え方



# 太陽グラス・遮光板の市場

前回

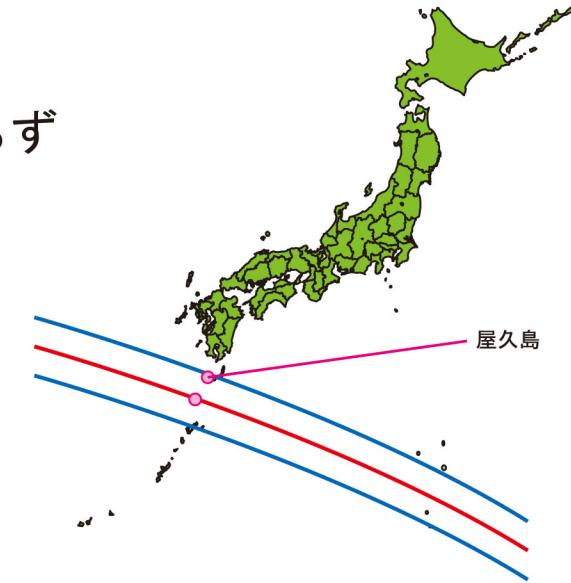
2009年7月22日の皆既日食時  
屋久島近辺でしか観測できなかったにもかかわらず  
**200万個以上の市場**まで膨れ上がった。



大きなイベントになると誰も予想できなかつたため  
皆既日食直前になってからの注文が多かった



**店頭で商品不足があった**

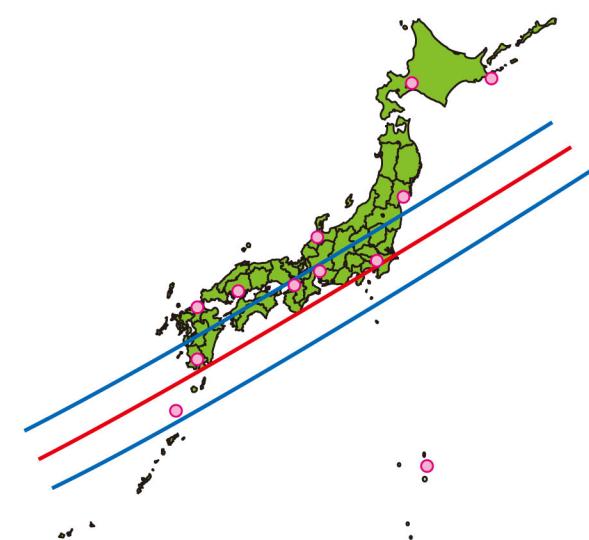


今回

金環食という珍しい現象が  
日本各地の大都市（東京・名古屋・大阪）で  
観測できる一大イベントになる！



**1000万個以上の市場**が  
見込まれている。



# 商品紹介

## 遮光板



包装イメージ

## プラスチックフィルター仕様

- 品番 /076078
- 商品サイズ /156×50×23.5mm
- 材質 / フィルター : PVC、フレーム : PP

DIN 規格 申請中

## 太陽glas



包装イメージ

## ガラスフィルター仕様

- 品番 /076079
- 商品サイズ /160×70×7mm
- 材質 / フィルター : ガラス、フレーム : PP

DIN 規格 EN169 遮光度 13

# 太陽の光と安全性 I

太陽の光には眼に見える光（可視光線）のほかに、目に見えない光があります。

目に見えない光のなかのひとつが“UV”という呼び方で馴染みの紫外線です。

紫外線には、照射された物質の化学変化を起こさせる力が大きいという特徴があり、眼の病につながる可能性があります。

もうひとつが赤外線です。赤外線は、物の分子に働きかけて物を暖めるという作用を持ちます。強い赤外線を受けると眼がやけどをする現象がおきます。

太陽の観察においては、この赤外線の遮断が特に必要とされます。

医学的に安全と憶測されている赤外線透過率は、0.05%と言われています。



当社の太陽グラスは、安全且つ観察をしやすい  
DIN169 13番 をクリアしています。

# 太陽の光と安全性 II

遮光板について

遮光板は、DIN169の認定は受けておりません。

その理由は、検査には工業用としての項目である

\*熱に対する強度

\*衝撃に対する強度

があります。PVCには太陽を観察するには十分ではあるが工業用としての強度はクリアできないからです。また、可視光線遮断率はDIN169 16番以下になっていることもひとつの理由です。



つまり、遮光板は太陽の観察のうえでは太陽グラスと同様あるいはそれ以上に安全な商品といえます。